



2025年4月14日

日本鉄道労働組合連合会

もりやたかし（森屋隆）参議院議員

北海道新幹線・札幌開業の遅延に係る質疑を展開



立憲民主・社民・無所属
森屋 隆

JR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属のもりやたかし参議院議員は3月13日、国土交通委員会において、中野洋昌国土交通大臣の大臣所信（国土交通行政の課題に対する方針）に対する質疑を行った。

その中でももりや議員は、北海道新幹線札幌開業の遅延について今後の展望を確認するとともに、並行在来線となる函館線（長万部～小樽間）のバス転換は‘人手不足により困難’との指摘を行った。さらに同じく並行在来線となる函館線（函館～長万部間）を引き合いに、ローカル鉄道の維持に向けては、国が主導して上下分離方式を積極活用すべきと指摘した。これに対して中野大臣は、札幌開業の遅れに係る有識者会議が同日開かれていることを踏まえて詳細な答弁を控えたが、バス運転士不足の現状に対する認識は示した。また上下分離について、鉄道再構築を国が支援する仕組みを整えたことに改めて言及し、まずはそうした取り組みを着実に進めていきたい旨答弁した。

中野国交大臣、工程遅延は「外的な要因によるもの」

もりや議員は24日にも同委員会の質疑に立ち、前述有識者が公表した「2038年度末開業見込み」への受け止めを確認。中野大臣は公表を受け、①関係者への丁寧かつ速やかな説明、②時宜を見て全体工程の再精査を行うこと、③一日も早い完成・開業を目指す、と指示した旨答弁。さらにもりや議員は開業遅れについて、「鉄道・運輸機構など、建設現場で一生懸命仕事をしてきた働く者たちが責められる話ではない」と指摘し、国の見解を求めた。中野大臣は工程の遅延について、「工事の中で判明をしたある意味外的な要因によるもの」と答弁し、鉄道・運輸機構は一丸となって取り組んできたとの認識を示した。